【１】校種を○で囲んでください。

小学校　　中学校　　高等学校　　盲学校　　ろう学校　　養護学校

【２】次の(1)～(20)に示した教員の能力についてお聞きします。

Ⅰの欄には、教職経験10年目前後の教員について、(1)～(20)の能力が実際にどの程度身に付いていると感じているかを、「よく身に付いている」「わりと身に付いている」「あまり身に付いていない」「ほとんど身に付いていない」の中から一つを選んで○をつけてください。

Ⅱの欄には、初任者研修を終えてから10年目を迎えるまでの間の教員に対し、校長としてぜひ伸ばしたいと考える能力であるかどうかを、「とてもそう思う」「わりとそう思う」「そう思う」「あまりそう思わない」の中から一つを選んで○をつけてください。

	Ⅰ				Ⅱ			
	よく身に付いている	わりと身に付いている	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない	とてもそう思う	わりとそう思う	そう思う	あまりそう思わない
（記入例）専門的知識を生かした授業を行うことができる。			○			○		
(1)学習指導に必要な知識や技能をもち、使うことができる。								
(2)教材を分析し、その構成要素や構造を把握したり、児童・生徒の発言、表情、行動を分析し、学習に関する興味・関心や理解の程度を推測したりできる。								
(3)児童・生徒、教師、教材等のかかわりを考えて、学習指導に必要な要素を組み合わせ、教材を創意工夫したり、学習指導案や学習指導計画を作成したりできる。								
(4)授業において、教師の働きかけに対する児童・生徒の反応を把握しながら、それに応じて、学習指導を行うことができる。								
(5)学習指導の成果について評価を行い、児童・生徒の達成状況や自らの指導の改善点を判断することができる。								
(6)生活指導・進路指導に必要な知識や技能をもち、使うことができる。								
(7)児童・生徒の言動や学校生活の様子等を分析し、生活指導・進路指導上の課題を把握したり、自らの指導に関する改善の可能性を推測したりできる。								
(8)児童・生徒の発達段階や個性に応じて、生活指導・進路指導に必要な要素を組み合わせ、指導方針や計画を作成することができる。								

前問からの続き	よく身に付いている	わりと身に付いている	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない	とてもそう思う	わりとそう思う	そう思う	あまりそう思わない
(9)児童・生徒の意識や行動の変化を把握しながら、それに応じて、生活指導・進路指導を行うことができる。								
(10)生活指導・進路指導の成果について評価を行い、児童・生徒の達成状況や自らの指導の改善点を判断することができる。								
(11)特別活動・部活動の指導に必要な知識や技能をもち、使うことができる。								
(12)児童・生徒の言動や学校生活の様子等を分析し、特別活動・部活動指導上の課題を把握したり、自らの指導に関する改善の可能性を推測したりできる。								
(13)児童・生徒の発達段階や集団の実態に応じて、特別活動・部活動に必要な要素を組み合わせ、実施内容を計画することができる。								
(14)児童・生徒の思いや集団活動の実態を把握しながら、それに応じて、特別活動・部活動の指導を行うことができる。								
(15)特別活動・部活動の成果について評価を行い、児童・生徒の達成状況や自らの指導の改善点を判断することができる。								
(16)学校運営の仕組みや意義、背景に関する知識をもち、使うことができる。								
(17)児童・生徒の学校生活の様子や学校組織の運営状況を分析し、学校運営上の課題を把握したり、運営改善の可能性を推測したりできる。								
(18)学校教育目標や児童・生徒の実態を踏まえて、学校運営に必要な要素を組み合わせ、学級経営案等、学校運営にかかわる経営案や実施計画を作成することができる。								
(19)管理職への連絡体制、職員間の協力関係、家庭・地域との信頼関係、服務の適正等を確保しつつ事態に対応し、学校組織の一員として、業務を遂行することができる。								
(20)学級経営等、学校運営にかかわる事項について評価を行い、学校経営方針の具体化に向けての達成状況や学校運営の改善点を判断することができる。								

【３】次の(1)～(12)に示した教員の情意についてお聞きします。

Ⅰの欄には、教職経験10年目前後の教員について、(1)～(12)の情意が実際にどの程度身に付いていると感じているかを、「よく身に付いている」「わりと身に付いている」「あまり身に付いていない」「ほとんど身に付いていない」の中から一つを選んで○をつけてください。

Ⅱの欄には、初任者研修を終えてから10年目を迎えるまでの間の教員に対し、校長としてぜひ伸ばしたいと考える情意であるかどうかを、「とてもそう思う」「わりとそう思う」「そう思う」「あまりそう思わない」の中から一つを選んで○をつけてください。

	Ⅰ				Ⅱ			
	よく身に付いている	わりと身に付いている	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない	とてもそう思う	わりとそう思う	そう思う	あまりそう思わない
(1)児童・生徒の発言、表情、行動から、学習への興味・関心や理解の程度等を積極的に感じ取り、対応しようとする。								
(2)学習指導のねらいや内容の価値がわかり、その効果を高めるため、意欲的に研修や研究に取り組んだり、家庭との連携や教員間の連携を図る等の工夫をしたりしようとする。								
(3)学習指導を通して児童・生徒の学力を育てるという自己の責任の重さを自覚し、誇りをもって指導に取り組もうとする。								
(4)児童・生徒の言動や学校生活の様子等から、生活指導・進路指導上の課題や、自らの指導に関する改善の可能性を積極的に感じ取り、対応しようとする。								
(5)生活指導・進路指導のねらいや内容の価値がわかり、その効果を高めるため、意欲的に研修や研究に取り組んだり、家庭・関係機関との連携や教員 間の連携を図る等の工夫をしたりしようとする。								
(6)生活指導・進路指導を通して児童・生徒の自己実現を図るという自己の責任の重さを自覚し、誇りをもって指導に取り組もうとする。								
(7)児童・生徒の言動や学校生活の様子等から、特別活動・部活動指導上の課題や自らの指導に関する改善の可能性を積極的に感じ取り、対応しようとする。								
(8)特別活動・部活動のねらいや指導内容の価値がわかり、その効果を高めるため、意欲的に研修や研究に取り組んだり、活動内容や活動の場等を工夫したりしようとする。								
(9)望ましい集団活動を通して児童・生徒の人間形成を図るという自己の責任の重さを自覚し、誇りをもって特別活動・部活動の指導に取り組もうとする。								
(10)児童・生徒の学校生活の様子や学校組織の運営状況から、学校運営上の課題や改善の可能性を積極的に感じ取り、対応しようとする。								

前問からの続き	よく身に付いている	わりと身に付いている	あまり身に付いていない	ほとんど身に付いていない	とてもそう思う	わりとそう思う	そう思う	あまりそう思わない
(11)学校運営のねらいや内容の価値がわかり、その効果を高めるため、意欲的に研修や研究に取り組んだり、家庭や地域との連携を図る等の工夫をしたりしようとする。								
(12)学校運営における自己の責任の重さ、さらに教育者としての自己の責任の重さを自覚し、誇りをもってそれを果たそうとする。								

【4】下記に示す(1)～(10)の豊かな人間性に関わる資質のうち、教員として大切だとお考えになるものを選んで○をつけてください。（3つまで選択可）

(1) 明るさ　(2) 愛情・あたたかさ　(3) 公平・公正な態度　(4) 世話好き・親切
(5) 健康・体力　(6) 社会性や協調性　(7) ユーモア　(8) 礼儀正しさ
(9) 素直さ・誠実さ　(10) 情緒の安定
(11) その他（　　）

【5】自校における教員の資質・能力を把握するために、あなたが授業観察以外で、日頃よく行っている情報収集の方法として当てはまるものに○をつけてください。（3つまで選択可）

(1) 本人の日頃の取り組みをよくみる。
(2) 本人との面接を活用する。
(3) 本人の作成した文書を見る。
(4) ともに具体的な指導にかかわりながらみる。
(5) 教頭・副校長から情報を得る。
(6) 各分掌の主任から情報を得る。
(7) 他の教員から情報を得る。
(8) その他の学校職員から情報を得る。
(9) 児童・生徒から情報を得る。
(10) 保護者・地域住民から情報を得る。
(11) その他（　　）

【6】教員の資質・能力を高めるために効果的と思われる指導について、当てはまるものに○をつけてください。（３つまで選択可）

(1) 校務分掌において、達成すべき課題を明確にする。
(2) 日々、他の教員から具体的な指導が受けられるよう、学年組織等の分掌配置を工夫する。
(3) 起案文書作成時に、校長としての考えを指導し、協議して起案させるようにする。
(4) 週案を通して、指導のあり方や方法について指導を充実させる。
(5) 校内の研究・研修を活性化する。
(6) 人事考課・業績評価など現在の評価システムを活用する。
(7) 教員の指導の成果を評価し、そのよさを具体的に伝え、課題が分かるように指導する。
(8) 教員のライフステージに合わせ、伸ばす職能の方向や研修課題について支援する。
(9) 各種研究会や教育会などの対外的な研究組織への参加の機会をつくる。
(10) 都・区市町村の研究員・調査員などへ推薦するなど、各種研修会の機会を生かす。
(11) その他（　　）

【7】学校には、教科指導や生活指導等、様々な分野で力量を発揮する教員がいます。下記のように力量を発揮する教員の中で、学校にとって必要であるとお考えになるものに○をつけてください。（３つまで選択可）

(1) 教材研究に熱心で、学習指導の指導技術に定評がある。
(2) 児童・生徒の悩み等をよく聞き、信頼が厚い。
(3) 部活動や課外活動を、中心となって指導している。
(4) 学校経営方針を理解し、管理職と教員のパイプ役となっている。
(5) コンピュータ等の機器について詳しく、まわりから信頼されている。
(6) 児童・生徒が生き生きと活動できるように、学級経営に工夫を凝らしている。
(7) 分掌等で中心的な役割を果たし、リーダーシップを発揮している。
(8) 地域の行事にもよく参加し、地域住民や保護者との関係づくりが上手である。
(9) その他(　　)